

野球場の不正利用問題

矢沢議員が入手した、ふれあいネットの個人カード作成を呼びかける文書（一部画像処理）

協力団体及びチーム各位
12月1日～7日までの横浜グラウンドが満ちたため、11月22日に調整しました。
12月8日以降については、第2回の抽選結果を待ち、11月22日に調整いたします。
8日まで希望しない団体も、11月19日（水）までに、必ず返書をお送りください。
又、12月1日（日）には、早くも1月分のふれあいネット抽選券が準備が完了です。
改めて言うまでもなく、グラウンド確保は、個人カード1枚1枚の抽選券を準備いたします。
問題の対応で、長らく疎かになっておりましたが、カードと入金の増進をお願いします。
チーム内外広く呼び掛け、11月30日までに、カードと入金の増進をお願いします。
<12月分前半希望と配分に関するルールについて>
希望提出条件や、ルールは下記の通りですので、良く考えて希望を
ふれあいネット個人カード作成の必要性を理解し、全面協力を
(金)までに、10月分利用料を指定口座
に明細を報告し、更に各

収まらぬルール違反

東京 6.12.19

矢沢市議、啓発活動を要望

市長「断固たる措置」

予約者と利用者が異なるまた貸しやキャンセルなしの未利用、加盟チームから集めた利用者番号を使うなどして公共施設利用システム「ふれあいネット」上で大量に利用申請する団体があるなど、川崎市が管理する多摩川河川敷の軟式野球場の不正利用問題が、17日の市議会一般質問で取り上げられた。福田紀彦市長は「不正利用者に対し、断固たる措置を含め厳格な対応を検討する」と述べた。矢沢

予約者と利用者が異なるまた貸しによるアカウントロックや、市内在勤を装った不正登録などが問題となってきた。市は不正利用を防ぐため2021年から、市内の野球チームでつくる利用調整協議会による調整制度を一部球場で試行導入。現在は、ふれあいネットの野球場専用団体登録番号を利用したメール申請と、協議会での調整の二つの方式で申し込みを受け付けている。

11球場で運用することを明らかにした。一方、協議会の加入要件を満たさないチームや、加入を希望しないチームにも利用機会を設けるとして、ふれあいネットの団体登録番号を利用した申し込みのため、土日祝日の予約枠の2割を残す方針を示した。

孝雄議員（自民）に対する答弁。

福田賢一建設緑政局長は答弁で、協議会方式について「一定の効果を確認できた」として、来年1月分の利用枠から、河川敷の全

矢沢議員は「ふれあいネット枠は公平公正に使われているとは思えない」と強調。禁止されているふれあいネットの個人カードの貸与や、カードを作成しパスワードを報告するようルールに反する行為を呼びかける、野球団体関係者によるとみられる文書を議場で紹介し、ルール順守を訴える啓発活動を市に求めた。

野球場の利用を巡っては、ふれあいネットへの大量の不正アクセス

効果を確認できた」として、来年1月分の利用枠から、河川敷の全

動を市に求めた。（北條香子）